第6回　熊本いいくに会定例会　企業塾開催！

開催日時：2005年11月22日（火）
18:30～板越ジョージ氏講演　19:30～喜田寛先生講演　20:30～懇親会
開催場所：熊本市国際交流会館5階　大広間
講　　師：格闘技K1副社長　板越ジョージ氏
㈱喜田寛総合研究所　喜田寛先生
参 加 者：約70名

11月第6回目を迎えた企業塾。今回は、熊本いいくに会の㈱喜田寛総合研究所の喜田先生と、特別ゲストとして、アメリカからお越しの板越ジョージ氏によります講演会と懇親会も行いました。
今回は特別にお二人による講演会となり、短い時間でしたが、大変中身の詰まった企業塾になりました！

～第1部　板越氏講演「選択と集中　感謝・謙虚・誠実」～

大学受験に失敗し、『自分は日本の社会では選ばれなかった。それなら自分で選ばれに行こう！』と渡米を決意された板越さん。しかし、送別会まで終わらせた出発3ヶ月前に、父親から資金がないことを告げられ、ﾊﾞｲｸ急便のﾊﾞｲﾄでどんな仕事でもこなし、3ヶ月で100万円貯金の目標を達成！されたそうです。
その後アメリカに渡ったのですが、なんと全く英語が聞き取れない！
そこで英語力を高めるための方法として①1日10~13時間、月曜から土曜まで勉強する②ﾎｰﾑﾊﾟｰﾃｨｰにかおを出して酔っ払って英語を話す！　この2つを実践し、英語力を高めることに成功されました。

さて、無事（？）大学に入学し1年間アメリカで過ごし3ヶ月日本でﾊﾞｲｸ急便という生活を送る中、もっと世界を知りたい！との思いから大学在学中にｲｽﾗｴﾙやｸﾞｱﾃﾏﾗ、ﾁｪｺや崩壊直後のﾛｼｱなど35カ国を巡る旅にも出られたそうです。
大学卒業後は日本大使館に就職し、大学院にも合格。
そんな中で、がむしゃらに頑張ってきた自分を「エリート」と呼ばれたことにショックを受け、『一から成り上がろう』とﾆｭｰﾖｰｸの出版社に入社を決意されました。
ここでも1日10~13時間仕事をし、5ヶ月後には圧倒的営業のﾄｯﾌﾟにまでなりました。
1年3ヶ月勤務した後、95年、26歳でﾍﾞﾝﾁｬｰの波に乗ってｲﾝﾀｰﾈｯﾄの日本語でのhow　to本を出版し成功されたそうです。

30歳になる時『何か大きなことをしなければ！』と合名会社を設立。
8億の投資で11ヶ所の拠点と70人の従業員を抱えましたが、これが本当に自分の求めていたものなのか？と自答する日々が始まったそうです。
そんな中同時多発ﾃﾛが発生。自宅からﾜｰﾙﾄﾞﾄﾚｰﾄﾞｾﾝﾀｰが崩れていく様を目の当たりにし、『自分が積み上げたものはこんなに簡単に崩れるのか』と感じ翌日に全従業員の解雇を決意し、1週間後に実行されたそうです。
その後は鬱状態で、自暴自棄になった時期もあったそうですが、3年後『ﾗｲﾌｽﾀｲﾙは守りつづけて苦にならないことは続けよう』というｽﾀﾝｽを身に付け、ﾌﾘｰﾍﾟｰﾊﾟｰの会社を立ち上げられました。

それまでは『あの時選ばなければ。あいつのせいで』という他人への愚痴と怒りの気持ちがありましたが、『自分で選んだ責任は自分で受けとめよう』と思えたときに初めて楽になれたそうです。
失敗したのはなぜか？と考えたとき、自分には感謝･謙虚･誠実が欠けていたからだと気づいた。人生においては選択と集中が大切だと感じている。これからの日本は一生懸命働き一生懸命遊び、それを社会に返すｽﾀｲﾙなると考えている。という言葉で、講演を終えました。

～第2部　喜田先生講演「言葉に咲顔（えがお）を」～

さあ、第2部、喜田寛先生のご講演です。
先生がまずいわれた事はは2つ、
『感謝と念い(おもい)を持ちなさい』
『言葉に咲顔（えがお）を持ちなさい』ということでした。
人は誰でも辛い経験を持つけれど、辛さの原因は自分にあり、ﾐｽに立ち向かったときに自分の幹になるのです。今の考え方を変えることはないが、それにﾌﾟﾗｽして感謝する気持ち、こうなりたい！という強い気持ち（おもい）を忘れてはいけないと、力を込めて話されました。今年6月に、ﾆｭｰﾖｰｸで書展を開くというおもいを実現された先生の次なる夢は60歳で上京することだそうで、来月には東京に事務所を移されるということです。

おもいという言葉は様々な書き方が出来ますが、思いというのはこうなれたらいいなぁという願望や夢にすぎず、そこにあるﾁｬﾝｽに気づかないもので、念いというのは常にｲﾒｰｼﾞを持つことだそうです。
たとえば、今ある自分の姿が2年前にこうなりたいとｲﾒｰｼﾞしていた姿であるような生き方をするということです。そして感謝の大切さについてですが、先生は阪神大震災での当たり前のことが当たり前でなくなった経験を通して、どんな生き方をしていても常に生きていることにありがとうという気持ちを持つようになられたそうです。
また、先生が今ﾗｲﾌﾜｰｸの一つになさっている書ですが、ﾓﾅｺで出会ったﾌﾗﾝｽ人女性の「あなたの字は戦争で兵士に見せたら、兵士がお互いを許す字ですね」という言葉で『自分は使命を持たされているんだな』と勇気と自信を持たれたそうです。

喜田先生の講演で、徳永さん(38歳、2年前に独立)と太田さん(近代経営研究所)が1分間ｽﾋﾟｰﾁをされました。先生にズバっと性格分析されたあとのｽﾋﾟｰﾁで緊張されたと思いますが、お二人とも見事にまとめられて会場も盛り上がりました。
人間が一番力を使うのは、人と付き合うこと(人間関係)ですがそれを気持ち良くするためには挨拶をすることです。

あかるく　**い**きいき　**さ**きに　**つ**づける、

それがあいさつです。言葉に咲顔を持つ、つまり心からわきでてくる気持ちがあれば自然と言葉も弾み、人に伝わるということです。
今与えられた仕事を100％全力でしていけば、その人が本当にしなければならない仕事に出会えます。そのためには心からの咲顔と感謝の気持ち、こうなりたいという強い念いを持ちつづけることが大切だという事を教えていただきました。

～第3部　懇親会～

さて、毎回お決まりの懇親会です。
懇親会では板越さんと喜田先生の書籍が販売され、その場でプチサイン会[illegible]た。
ちなみに50部の本は完売(！)してしました。

まずは乾杯のご発声。今回企業塾初参加の、富士通南九州システムエンジニアリング大津社長より、「お二人（講師）の話が共通していました。自分自身、成長させていきたいと思います！」とご挨拶をいただきました。

続いて東光石油㈱石原副社長よりより 「今回は首脳部がおりませんし、心配しましたが今年のいいﾌﾟﾚｾﾞﾝﾄになりました。」とご挨拶。
10月に行われた第2回みずあかりの実行委員長も務められましたので、「みずあかりも市民の認知度が上がってきたと感じています。みずあかりは2年前に念いでスタートしました。そして2回目には愛が広がりました。熊本城400年祭では熊本中をあかりにする予定です！」と、今後の意気込みを含めてお話していただきました。
また、第2回みずあかりの運営において大活躍だった学生会野口麻衣さんと青年会北川勇夫さんをご紹介。「来年もみずあかりやりますのでよろしくお願いします！」と、元気よく話しました。

さて、皆さんのイベントご紹介タイムです！
まずは九州ルーテル学院冨田事務局長より　11月25日のルーテル学院でのイルミネーション一点灯式のお知らせ！

中川ひとみさん（焼酎バー「天真爛漫」などを経営）より　初参加のご挨拶
喜田寛総合研究所　村上佳嘉子さんより　12月19日の話道塾のご案内
ポールスミス熊本有田社長より　ポールスミス20周年記念　チャリティー映画上映会のお知らせ

みなさん、面白そうなイベントの情報を毎回提供してくださいますね！

そして最後の締めは、この方も今回企業塾初参加の田中病院田中先生より。
「一つの講演で一つ残すようにしています。今日は『環境を変えることが人を変える』です。」と、カッコよく締めていただきました！
みなさん、お疲れ様でした♪

短い時間でもったいない！と思われるほど、大変中身の詰まった講演会、懇親会となりました。
さて、12月の企業塾は、皆さんお忙しいことと思い、お休みさせていただきます。
1月は1月18日（水）18:30～　次回は熊本県民交流館パレア第1会議室にて行います。次回は、㈱やさしい手熊本代表取締役社長末永浩毅氏による講演と懇親会です。みなさん奮ってご参加ください♪